

## 市歌制作に携わって・市歌の完成への想い

### ～七尾市シンボル等策定市民会議 委員の皆様の声～

委員の皆さん一人一人が、それぞれの知識や経験、思いを生かし、市民の皆さんが思う「七尾らしさとは」を一生懸命に考え、意見を出し合えた会議でした。この市民会議に携わり、七尾市民憲章に込められた深い思いを知ることができました。新市歌をきっかけに、その深い思いや良さを改めて伝えられるといいと思います。市民なら誰もが知っている、歌える、そんな馴染みのある市歌となることを願っています。

七尾市が合併 20 周年を迎えた記念すべき時に、新しく「市歌」が完成するという市の計らいに大いに賛同した私です。また策定にも関わらせていただき、皆さんと議論する中で七尾市の良さを再発見いたしました。七尾はまだまだ復興半ばです。私たちが携わった「七尾市歌」を聴き、歌い、市民が心を動かし、老若男女共々より元気になり、地域のコミュニティも豊かになり、七尾市を愛してふるさとを思い出す一曲になることを願っています。

「つなぐ」古き歩みを誇りつつ、文化の薫るふるさとに…子どもたちは口を揃えて唱和します。合併後受け継がれてきた市民憲章が七尾市歌として誕生！！一文一文に込められた想い、七尾の風景がメロディに乗せて流れていくようです。認識を深め、“しあわせの和”が広がるように手話・体操・マーチングバンド・吹奏楽等、子どもから大人まで親しまれ歌い継がれていくことを願います。一員として携われたことに感謝をし、市歌を通じて心を育む大切さをつないでいきます。

「新七尾市」という言い方もとうに記憶から過ぎ去り、市民が手を取り合い復興に邁進する日々、しかし何か足りない…そう、私たちが誇る「七尾市歌」が！偶然にもそう感じていた頃に新七尾市歌制定に携わることができたことに喜びを噛みしめています。一題目の歌詞はおなじみ市民憲章、ここに新七尾市の発展の願いが凝縮されていることに改めて感銘を受けました。愛する故郷 ななおの「七尾市歌」、この音楽の力で一層の発展を！

このような貴重な機会に恵まれ、今後の七尾市のシンボルとなるであろう市歌策定の場に携わらせていただきましたこと、心より嬉しく思います。もっともっと多くの声をお聞きできたらよかったですのではと、考えることも多くはありましたが、旧七尾市歌のように、子どもから大人まで、どのような方にも親しまれながら、広く長く愛されていってくださることを願います。ありがとうございました。

市歌策定に関わらせていただき、ありがとうございました。私自身はまだ七尾市民歴が浅いため勉強させていただくことも多く、特に他委員の皆様の市民憲章への熱い想いに感銘を受けました。想いの込もった良い曲ができたと思いますので、長く歌い継がれていくことを願っています。

今回、七尾市シンボル等策定市民会議委員として、七尾市歌制作に係る市民会議に委員として参加させていただきました。

七尾市歌制作という重い責任を委員の皆さんと共有し、活発な議論を経て、新七尾市初の市歌が完成しました。市歌制作に携わることができ、大変嬉しく思います。

この七尾市歌が市民の皆さんにより多く歌い継がれていき、七尾の復興に向けて前に進んでいくような復興のシンボルになればと市民として願っています、